

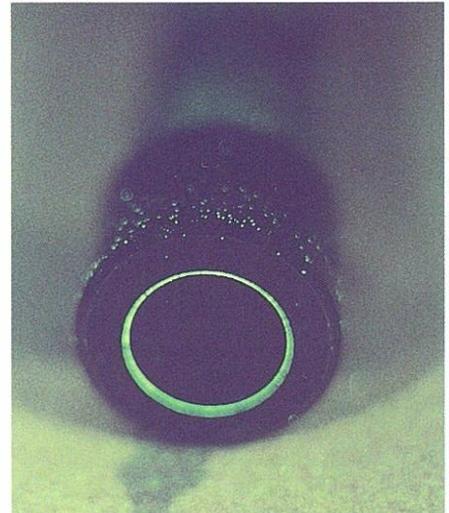
磁粉液チェッカー MODEL S-2シリーズ

磁粉探傷に使用する磁粉液を常に適正に保つ事は、「磁化電源の種類、性能」「磁化方法」と共に磁粉探傷精度を左右する大切なファクターであります。すなわち装置により、いかに最適な磁化を行っても磁粉液中の磁粉の混合量が少なかったり、汚れていたりしたのでは傷の検出力に対するトラブルは絶える事はありません。

従来はJIS規格型の沈殿管を用いて、溶液100cc中の30分静置後の沈殿物の量を読みとって判断しておりましたが、この方法ではその沈殿物の中にゴミやスケール等の汚物が混在し直接的な判定を下すことはできませんでした。

磁粉液チェッカーS-2シリーズは瞬時に直接的に磁粉液の良、否を判定できるテストバーです。

磁粉液チェッカーS-2A型は直線のテストバーの先端に検出センサーが取付いています。磁粉液チェッカーS-2B型は検出センサーの取付いた先端部が90°折り曲げることができるタイプで、ブラックライトの下で磁粉模様を観察するのに便利な様に工夫されています。



構造

磁粉液チェッカーS-2シリーズのセンサー部は直径25mmφの磁性材の中心に15mmφの円周の模擬欠陥が出現するようになっております。センサー部は、その内部が円周状の模擬欠陥ができるように磁化されており、その材質は抗磁力が強く、しかも閉磁路で組立てられておりますので外部の磁界の影響を受け難くなっております。しかし念の為脱磁器等で脱磁することは避けて下さい。

使用法

磁粉探傷では被検査物にいろいろな方法で磁粉液を適用します。「液中にディップする方法」「シャワーの中を通過させる方法」「手でスプレーする方法」「バルブでシャワーを開閉する方法」等々です。

磁粉液チェッカーの先端受感部を中心に上記のような実際の磁粉液適用法と同じ方法で磁粉液を適用します。最短適用時間は1秒で充分です。磁粉液適用終了後、実際に使用しているブラックライトの下で実際に実施している検査の場所（ブラックライトからの距離）でチェッカー先端部の磁粉模様が明瞭に目視できる事を確認して下さい。

もし不明瞭であれば「液中の磁粉濃度が少ない」「タンクの攪伴が不充分」「磁粉の蛍光体の劣下」「液の汚れ」「ブラックライトの照度不足」等が考えられます。

すぐに原因を探究し対策を構じて下さい。

磁粉液チェッカー使用後は、先端受感部表面を中心にウェス等できれいに拭き掃除して下さい。何度でも繰り返し使用できます。

寸法表

MODEL	全長	軸径	重量	特徴
S-2A	321mm	20mmφ	340g	直線ストレート型 模擬欠陥 15mmφ
S-2B	321mm	20mmφ	380g	先端90°折り曲げ直線両用 模擬欠陥 15mmφ

《営業品目》

磁気探傷装置並に関連機器
減磁・脱磁装置
磁気計測器各種

着磁装置並に関連機器
交流・直流電磁石
磁気応用製品各種

日本電磁測器株式会社



東京都立川市砂川町8-61-3
☎042(537)3511(代) 〒190-0031
ファックス 042(535)7567